

2021年度 6人制ルールの取り扱いについて【追加事項】

1 ボールをプレーすること (PLAYING THE BALL) に関する事項

9.1 チームのヒット (TEAM HITS)

ヒットとは、インプレー中の選手によるボールへの接触である。

(注)

- 1 インプレー中の選手長い髪の毛がボールに触れても、ヒット (ボールへの接触) と判断しない。したがって、相手のアタックヒットがブロックやレシーブ時に髪の毛に触れてもボールコンタクトと判定しない。また、ラリー中に起こる同様のケースも許容回数に含めない。

2 リベロ (THE LIBERO PLAYER) に関する事項

19.3 リベロに関する動作 (ACTION INVOLVING THE LIBERO)

19.3.2.9 不法なリベロリプレイメントが次のラリーの開始前に発見された場合は、審判員より正しく直され、チームには遅延行為に対する罰則が適用される。

不法なリベロリプレイメントがサービスヒットの後に発見された場合は、不法な選手交代と同じ処置がされる。

(注)

- 1 アシスタントスコアラーは、サービス許可のホイッスル後からサービスのヒットの前にブザーを鳴らし指摘し、チームには遅延の罰則が適用される。この時のリベロリプレイメントは認められない。ただし、リベロがポジション4に残らなければいけない場合は、リベロリプレイメントは認められる。

6人制ルールの取り扱いについて 【再確認】

※注釈のみを掲載しました。詳しくはルールブックを参照してください。

7.3 スターティングラインアップ 【2002】

スターティングラインアップについて、両チームのラインアップをスコアラーがスコアシートに記入し終わったら、チームはラインアップを訂正することはできない。提出した後でそのセットが始まる前に、スターティングラインアップの選手が負傷した場合でも、原則として変更を認めず正規の選手交代の手続きをする。

15.3 正式な試合中断の要求 【2015】

何らかの理由でラリーがやり直しとなった場合（ダブルフォルト・ノーカウント）は、ラリーの完了としない。したがって、両チームからの正規の試合中断やリベロリプレイメントは認められない。ただし、選手の負傷や病気によりラリーを止めた場合は、その選手の選手交代やリベロリプレイメントは認められる。

※ブザー 【2015】

ラリー中、ブザーが鳴ったときの対応について

- ① スコアラーからのブザーか、ベンチからのブザーかを確認する。
- ② スコアラーからのブザーであれば、ホイッスルしてラリーを止め、内容を確認して判定する。
- ③ ベンチからのブザーであれば、ラリーを続け、ラリーが終了した時点で、「なぜ鳴ったか」「意図的かどうか」を確認し対応する。
- ④ ベンチからのブザーはあくまでも予鈴で、ブザーでラリーを止めることはしない。ラリーを止めるのはホイッスルである。

15.5 選手交代 【2010】

ナンバーパドルおよびブザーを使用しないときの基本的な手順は下記の通りである。

- ① 交代選手がサブスティテューションゾーンに入ったら、副審が吹笛しハンドシグナルを示す。
- ② 副審は、ポールのそばで選手交代をコントロールする。
- ③ 副審は、交代選手の方を向き、選手をサイドライン上に止まらせる。
- ④ 副審は、コート内の交代する選手に手を上げさせる。
- ⑤ スコアラーは交代できることを確認できれば、軽く手を挙げて合図を送る。交代できない場合は手を振る。
- ⑥ 副審は、スコアラーを確認し、手で合図をして選手を交代させる。
- ⑦ スコアラーはスコアシートに記入し、完了したら両手を上げる。
- ⑧ 複数の選手交代の場合は、1組ずつ③から⑦の手順を同様に行う。
- ⑨ 副審はスコアラーを確認し、完了を主審に知らせる。

19.4 新しいリベロの再指名 【2011】

- ① チームに登録されているリベロ（1人もしくは2人）すべてが、負傷、病気、退場、失格、あるいはいかなる理由であってもプレーをすることができないと宣言されたとき、監督（監督不在の場合はゲームキャプテン）はその時点でコート上にいない他の選手（リベロと入れ替わった選手を除く）を、その試合の終了までリベロとして再指名することができる。
 - ◆リベロがコート上にいるときでも再指名することができる
 - ◆交代が遅れたり、準備ができていない場合は、拒否され遅延の罰則が適用される。
- ② 再指名された選手（リベロ）は、ビブスを着るか、アクティngrリベロと同じユニフォームを着る。しかし、番号は自身と同じものを付ける。
- ③ ビブスは各チームで準備する。

※リベロに関する国内での特別な取り扱い 【2011】

1チームが7人（リベロが1人）、8人（リベロが2人）の場合、1名の選手が負傷や病気によりプレーの続行が不可能になった場合は、リベロを加えて6名の選手にして競技を続行することができる。ただし、7人（リベロが1人）の場合は、ユニフォームはリベロのユニフォームのままで競技することができるが、8人（リベロが2人）の場合は選手と同じユニフォームに着替えるか、ビブスをつけるなどでリベロとわかるようにしなければならない。なお、負傷や病気となった選手はその試合、コートに戻ることはできない。

21 不法な行為とその罰則【2014】

- ① 1回目の軽度の不法な行為があった場合は、ステージ1として処置する。ステージ1の警告は、チームに対して行い、ゲームキャプテンを呼んで口頭で警告を行う。この警告は1度限りである。記録用紙には記載しない。また、軽度の不法な行為の程度によっては、1回目であってもステージ2から適用される場合がある。
- ② チームの2度目の軽度の不法な行為については、イエローカードを示し、スコアシートに記載される。

主審は、軽度の不法な行為を行った選手を呼び、イエローカードを示し警告する。このイエローカードはチームに対して試合を通して1回だけである。したがって、その後同チームのどの選手でも、再度、軽度の不法な行為を行った場合は、レッドカードを示し反則とする。

(例)	軽度の不法な行為	1回目	⇒	同2回目	⇒	3回目	⇒	同4回目
選手	No. 5		⇒	No. 6	⇒	No. 7	⇒	No. 8
処置	口頭に警告		⇒	イエローカード	⇒	レッドカード	⇒	レッドカード

- ③ チームに先に反則・退場・失格の罰則を適用した後に、同じチームが軽度の不法な行為を行った場合は、口頭での警告は行わず、上記のステージ2から始まり処置を行う。

(例)	不法な行為	⇒	軽度の不法な行為	1回目	⇒	同2回目	⇒	同4回目
選手	No. 5	⇒	No. 6		⇒	No. 7	⇒	No. 8
処置	レッドカード	⇒	イエローカード		⇒	レッドカード	⇒	レッドカード

- ④ セットの最終ポイント決定後の不法な行為に対する処置は、その時点で行い、直後のセット開始時に罰則を適用する。